



華となれ!

宮城県仙台二華中学校
学校だより 第6号
【発行日】平成29年5月24日
【連絡先】022-296-8104
【文責】教諭(研究主任)
畠山 大輔

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

「火山の噴火と災害出前授業」

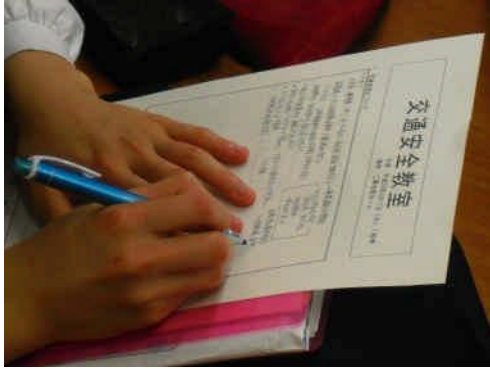
去る5月16日(火)、本校7階大ホールにおいて、北海道大学名誉教授の宇井忠英先生をお招きして「火山の噴火と災害出前授業」が行われました。生徒たちは、「火山は美しい景色や温泉、そして地熱資源や鉱山物質資源など私たちに多くの恵みをもたらすこと」、「しかし、噴火が起こると災害を引き起こすこともあること」、「火山列島日本に暮らす私たちは火山の噴火について知っておくことが欠かせないこと」について学ぶことができました。以下に、感想の一部を紹介します。

- ・マグマが水から作られているということに驚いた。噴火の種類がたくさんあるのがとても興味深く、特に流紋岩質洪水噴火は恐ろしいと感じた。火山は自然だけでなく、人間の生活やその後の生物、文化にまで影響を及ぼしてしまうことに火山のすさまじさを知った。個人的には富士山剣ヶ峰に強い愛着があるので、様々なことを調べてみようと思った。
- ・以前、ニュースで御嶽山の噴火や被害の様子を見たときに、自分たちの身に起こったらどうすればよいだろうかと思っていましたが、今回の講演で学ぶことができましたと思います。それと合わせて、身近にある活火山を知り、噴火する可能性があることを心に留めておく必要があると考えました。そのために、県内にある活火山の数や場所を調べ、一度気象庁の発表している蔵王山の観測結果を見てみたいと思いました。
- ・今までの疑問を解決し、より深い疑問をもつことができましたと思います。特に興味をもったのは、7300年前の大噴火が縄文時代の文化に影響したというお話です。噴火による災害で生物個々の命だけでなく、人が築いてきた文明や植物、動物の生態系も失われてしまうなんて、想像が付きません。しかし、近い将来もありえる事例だと思うので、それまでに研究が進めばと思いました。私も、暮らしに身近なところから知識をつけていきたいです。



「交通安全教室」

去る5月17日（水）、二華会館2階ホールにおいて、講師にあいおいニッセイ同和損保の粕谷さんによる、「交通安全教室」が行われました。生徒たちは、自転車の事故に関する様々な事例やルールを自分のことと捉え、真剣に学んでいました。特に、近年問題視されている「ながらスマホ」の怖さを、改めて確認することができました。



「朝のつどい」

去る5月19日（金）1時間目に、第1体育館において朝のつどい委員による「朝のつどい」が行われました。大会が近い陸上部、新体操部、放送部の壮行式や、高総体・中総体を控えた各部の部長から、意気込みと注目してほしい部員についての発表がありました。今年は、インターハイが宮城県で開催されることもあり、高校生にとっては忙しくもやりがいのある、特別な夏になりそうです。中学校も、全力でバックアップしていきたいと思います。



〈朝のつどい委員長の言葉〉

この朝のつどいは二女高時代から続く伝統の1つです。しかし、2、3年生にとって朝のつどいは賞状伝達の間というイメージが強いのではないのでしょうか。そのイメージを一新するべく、昨年度からは部活動との連携、そして今年度からは1時間目を使用しての開催となりました。今後この場を使用し、こんなことをやりたい、という案があれば朝のつどい委員に声をかけてください。朝のつどいはみなさんのご協力で成り立っています。今後も朝のつどいをよろしくお願いします。